

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
  - ① 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」受付締切が間近です！
  - ② 平成30年度「群馬県青少年育成大会」が開催されます
  - ③ 平成29年度「不登校・高校中退者数」を公表しています
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
  - ① ひきこもり家族教室「地域の社会資源について」
  - ② ひきこもり支援「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際」
- 3) 民間活動団体等の紹介
  - ① 子ども日本語教室・未来塾（伊勢崎）

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」受付締切が間近です！

今回のテーマは「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」です。

学校教育、保健福祉、青少年など、さまざまな分野で日頃から相談対応されている皆さんから申込みいただいています。

申込み数が定員（300人）に迫っています（残りは100人余）。定員を超えた時点で受付をお断りします。お早めに連絡ください。

【研修会】

日時 12月17日（月）13:00～16:10  
会場 県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7）  
（注）昨年度とは会場が異なります

内容

- (1) 事例報告（それぞれの現場からの報告）  
ひきこもり経験者、経験者の親、学校、行政機関の4名
- (2) パネルディスカッション  
コーディネーター 石川京子氏（NPO法人リソケジ 理事長）  
パネリスト 鈴木基司氏（みどりクリニック 院長）  
他 事例報告者

定員 300人（申込みは12/3まで、先着順）

研修会の詳細は、添付資料をご覧ください。

2 「平成30年度「群馬県青少年育成大会」が開催されます

県では、青少年健全育成に対する県民の理解を深め、地域ぐるみで健全育成活動を充実・促進させることを目的として、子供・若者育成支援強調月間にあたる11月に、群馬県青少年育成大会を開催します。

【育成大会】

日時 11月23日（金・祝）14:00～15:30  
会場 県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7）  
内容

- 第1部 式典（14:00～14:40）  
表彰 群馬県青少年健全育成功労者表彰  
少年の主張群馬県大会表彰 ほか

- 第2部 発表（14:45～15:30）  
少年の主張群馬県大会最優秀賞・優秀賞受賞者による発表  
「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール作品発表

申込み不要、直接会場にお越しください

3 平成29年度「不登校・高校中退者数」を公表（文科省）しています

県内の不登校（年間30日以上欠席）の児童生徒数は、小学校513人（前年度456人）、中学校1,710人（1,649人）、高校882人（767人）で、いずれも前年度を上回っています。

高校（国公立・全定通）の中退者数は825人で、前年度815人から増加しています。県立高校の平均規模（学年5クラス）1校分（600人）を上回る数の子どもたちが学校から離れています。

全国で中学3年生の不登校生徒数は41,500人います。高校進学をきっかけに新たな一歩を踏み出す生徒もいますが、進路未決定のまま学校を離れてしまうケースもあります。

文科省で調査結果を公表しているのでご覧ください。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/30/10/1410392.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/10/1410392.htm)

群馬県のデータをグラフにまとめたので添付資料をご覧ください。

4 11/22 ひきこもり家族教室「地域の社会資源について」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に、家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、皆さんの気持ちのゆとりを持っていただきます。

【家族教室】

日時 11月22日（木）13:30～16:00

内容 地域の社会資源について

アリスの広場

NPO法人CCM

社会福祉法人「明清会」

会場 県こころの健康センター 会議室（前橋市野中町368）

連絡先 ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

5 11/18 ひきこもり支援「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、ひきこもり支援講演会を開催します。

【ひきこもり支援講演会】

日時：11月18日（日）13:30～16:30

場所：県庁昭和庁舎 35会議室

講演会：「CRAFTを応用した家族支援の基本と実際 ～パート2～」

対象：ひきこもり家族、および関係者

講師：野中 俊介 氏

東京未来大学こども心理学部講師 臨床心理士

「CRAFT ひきこもりの家族支援ワークブック」共著者

後半に、講師との交流時間も予定しています

申込み、お問い合わせは下記電話までご連絡をお願い致します。

KHJ群馬はるかぜの会 080-9373-4760

KHJ全国ひきこもり家族会連合会動の詳細はHPをご覧ください。

<http://www.khj-h.com>

6 民間活動団体等の紹介 子ども日本語教室・未来塾（伊勢崎）

伊勢崎市は、外国籍住民の多い地域です。

- ・日本語を習いたい
- ・子どもの学校の勉強や進学の手助けをして欲しい
- ・日本の文化や制度を知りたい
- ・住民として地域の人たちと共に暮らしたい

そんな人たちとお互いの文化や言葉を尊重し合いながら、手助けを通じて共生社会づくりを進めるために活動しています。

小学生クラスでは、日本語や教科学習を通じて小学生の基礎学力を育てる手助け、中学生クラスでは、進路選択を自律してできるように手助けしています。

ユースクラスは、高校生とさまざまな事情で就学していない、就学できない子どもたちのクラスです。

活動の詳細はホームページをご覧ください。

<http://miraijyuku.com/>



次号は、平成30年12月中旬を予定しています。  
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。  
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『[kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会 .....

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 子育て・青少年課内
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>

## 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」実施要項

### 1 目的

県子ども・若者支援協議会では、「第2期 群馬県子ども・若者計画」（平成30～31年度）推進の一環として、社会生活や学校生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者やその家族が、少しでも早く適切な相談・支援が受けられるようにするため、身近な地域や学校で青少年の相談・支援に携わる職員らを対象に、子ども・若者の相談・支援についての知識や技法、他機関との連携による支援について理解を深めることを目的に研修会を実施する。

特に、重点テーマとして「高校中途退学者等の支援」を継続的に取り上げ、「不登校・ひきこもり」支援から社会的な自立に向けた「再学習」や「就労」の支援まで、関係者による取組事例や相談・支援に役立つ情報を提供しながら、関係機関等による切れ目ない支援の実現に向けた連携を促進するとともに、参加者を通して子ども・若者支援に関する情報が県域に広がるようにする。

### 2 テーマ・ねらい

#### (1) 研修会のテーマ

「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」

#### (2) 設定のねらい

高校中途退学者、中学校卒業後進路未決定者の多くは、思春期・青年期特有のさまざまな要因から不登校となり、学校を離れた後もひきこもり状態が続いている者が少なくない。

このため、本人が「不登校・ひきこもり状態」から自分の進む道を見つけて新たな一歩を踏み出して行けるよう、家族を含めた当事者の気持ちに寄り添った支援が求められている。

今回は、支援者として「不登校・ひきこもり状態」の理解と支援の在り方を考えていく。

### 3 日時 平成30年12月17日（月）13：00～16：10（開場 12:30）

### 4 会場 群馬県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7 TEL 027-255-1166） （公社総合ビルの駐車場をご利用ください）

### 5 内容

#### (1) 開会行事（13:00～13:10）

主催者あいさつ、事務連絡

#### (2) 事例報告（13:10～14:30）

##### ① 学校現場からの報告「不登校・ひきこもり 本校の取組みと課題」

県立長野原高校 養護教諭 高平 智加子 氏

##### ② 経験者からの報告「不登校・ひきこもり 私の場合」

NPO法人 ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」理事長 佐藤 真人氏

- ③ 経験者の親の報告「我が子の不登校・ひきこもり 親の立場から」  
不登校と向き合う親の会 さくらんぼの実る頃 代表 湯浅 やよい氏
- ④ 行政機関からの報告「精神保健福祉センターの取組み」  
群馬県こころの健康センター 技師長 大館 実穂氏

<休憩 15分間>

(3) パネルディスカッション(14:45~16:00)

- テーマ 「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」
- コーディネーター・パネリスト
  - ・コーディネーター 臨床心理士 石川 京子氏 (NPOリンケージ 理事長)
  - ・パネリスト
    - 不登校・ひきこもり経験者 佐藤 真人氏 (アリスの広場)
    - 不登校・ひきこもり経験者の親 湯浅やよい氏 (さくらんぼの実る頃)
    - 学校における支援者 高平 智加子氏 (長野原高校養護教諭)
    - 精神保健福祉センターの医師 大館 実穂氏 (こころの健康センター)
    - 関係する医療機関の医師 鈴木 基司氏 (みどりクリニック院長)

(4) アンケート記入・閉会行事 (16:00~16:10)

6 対象者 300人 (定員)

- ・公立・私立中学・高等学校の生徒指導担当教諭及び教育相談担当教諭、養護教諭
- ・県・市町村の青少年支援相談担当者、各教育事務所青少年相談担当者
- ・県・市町村相談窓口担当者、民生・児童委員
- ・民間の支援活動団体 他希望者 など

7 申し込み 期限は12月3日(月)まで、定員を超えた場合のみ代表者に断りの連絡をする

- 参加方法：別紙申込書をメール・FAX・郵送で下記へ申し込む(先着順)。
- 質問受付：テーマに関する意見、現在困っている問題等でのパネリストへの質問、パネルディスカッションで回答を求めたい方は、質問の要旨(様式自由)を参加申込時に提出する。  
(コーディネーターと事前調整するため、質問の全てを採用・回答できない場合がある)

【申し込み・質問受付・問い合わせ先】

群馬県子ども未来部 子育て・青少年課 青少年育成係 担当 (風間・飯塚)

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

電話 027-226-2393 FAX 027-226-2100

e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

## 子ども・若者の相談・支援に携わる皆さんへのメッセージ（Ⅱ）

昨年の研修会では、「不登校・ひきこもり、再学習、就労を支援する」をテーマに、学校の先生方だけでなく、行政や福祉分野の方、当事者の親御さんと、さまざまな方々に集っていただきました。

三部構成のパネルディスカッション、1)「不登校・ひきこもり」対応、2)「再学習」に向けた対応、3)「就労」につなげる対応で、子どもを支える大人としてどのようなことができるか、意見交換を行いました。

私はコーディネーター役として、①子どもや家族は何に困っているのか、②一歩を踏み出すことを支える支援は何か、③連携とは具体的にどのようなことか、という視点で全体を進行させていただきました。

そして、子ども・若者の相談・支援に携わる一員として、

■彼ら彼女らが『社会』との関係性の中で立ち止まり、あるいは困り果て、または、変わりたいという気持ちをとどめていること、ここに眼差しを向け、聴く耳を持っていくことが大事ではないか。

■ 私たちは、一人ひとりで子どもたちを抱え込むのではなくて、家族や学校、支援機関が役割分担をしながら連携していくことが大事ではないか。今日ここに参加された一人ひとりが、つながれるかどうかだ、と、全体をまとめさせていただきました。

(\* 研修会の内容は県HPでご覧になれます <http://www.pref.gunma.jp/03/bv0100029.html>)

県では、参加者のアンケート結果も踏まえて、「不登校・ひきこもり」「再学習」「就労」に関する相談・支援を研修テーマの3本柱に掲げました。そして、相談・支援現場の課題解決につながる具体的な情報を提供するために研修内容を深め、当事者を社会全体で切れ目無く支えていくための相談・支援機関の連携について考えることを決定しました。

今回のテーマ、「思春期・青年期の不登校・ひきこもり状態の理解と支援を考える」を進めるにあたっては、学校や医療現場などの関係者だけでなく、不登校・ひきこもりの経験者や経験者の親御さんにも参加していただき、ご自身の体験を語っていただくことにしました。

不登校は『日常のなかに置かれた非常口』だと述べられた方がいらっしゃいます。

それぞれの発言を通して、思春期・青年期における不登校・ひきこもり状態の理解を深めるとともに、非常口の先にある豊かな世界が子どもや若者に見えるよう、必要とされている支援の在り方について、会場の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

一人でも多くの方が参加されることを期待して、私からのメッセージとさせていただきます。

平成30年10月

NPO法人リンケージ理事長 臨床心理士 石川 京子

平成30年 月 日

子育て・青少年課長 へ

(所属機関の長)

平成30年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加申込書

所 属	職	氏 名

本件に係る担当者・連絡先電話番号

所 属	
氏 名	
電 話	

※ 12月3日（月）までに、メールまたはFAXでお申込みください。  
申込み受付は先着順ですが、定員を超えた場合はお断りの連絡をします。  
テーマに関する意見、現在困っている問題等でパネリストへの質問、パネル  
ディスカッションで回答を求めたい方は、質問の要旨（様式自由）を参加申  
込時に提出してください。

（都合により、質問の全てを採用・回答できない場合があります）

問い合わせ先：子育て・青少年課  
青少年育成係 担当（風間・飯塚）  
電 話：027-226-2393 FAX：027-226-2100  
メール：kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp





平成30年度

# ひきこもり家族教室のご案内

ひきこもり支援センターでは、ひきこもりに悩んでおられるご家族等を対象に、家族教室を下記のとおり開催いたします。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としましょう。

- ・申込みいただき、**個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内**しています。
- ・支援者の方、ご家族同伴でのご本人の参加もお待ちしております。
- ・見学や参加を希望される方は、**下記連絡先までご連絡下さい。**

**場所：** 群馬県こころの健康センター 会議室

**時間：** 午後1時30分～午後4時00分

**連絡先：** **ひきこもり支援センター**（群馬県こころの健康センター内：前橋市野中町368）

「ひきこもり専用ダイヤル」 電話：**027-287-1121**

月～金 午前9時から午後5時まで ※年末年始、祝日は除く



## 【家族教室に参加すると】

- ・自分だけではない安心感
- ・選択肢が広がる
- ・気持ちに余裕ができる
- ・工夫できる場所が見つかる…等  
ヒントが得られる機会になります。

家族の気持ちの安定が、  
本人の気持ちにも影響を  
与え、本人の状態が良くなる  
という研究結果があります



**\* 日程表は裏面にあります \***

## 平成30年度ひきこもり家族教室予定表

開催日	テーマ	講師
4月26日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
5月24日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
6月28日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
7月26日(木)	講座 『言葉を使って気持ちを伝える』	・群馬大学 浅見隆康医師
8月23日(木)	講座 『自分らしく生きたい!』	・NPO法人楽の会リーラ 大橋史信ひきこもりピアサポーター
10月25日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
11月22日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
12月27日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
平成31年 2月28日(木)	DVD上映会+座談会 NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ『ひきこもりからの回復』	

\* 教室は、前期（4月～6月）と後期（10月～12月）は同じ内容です。

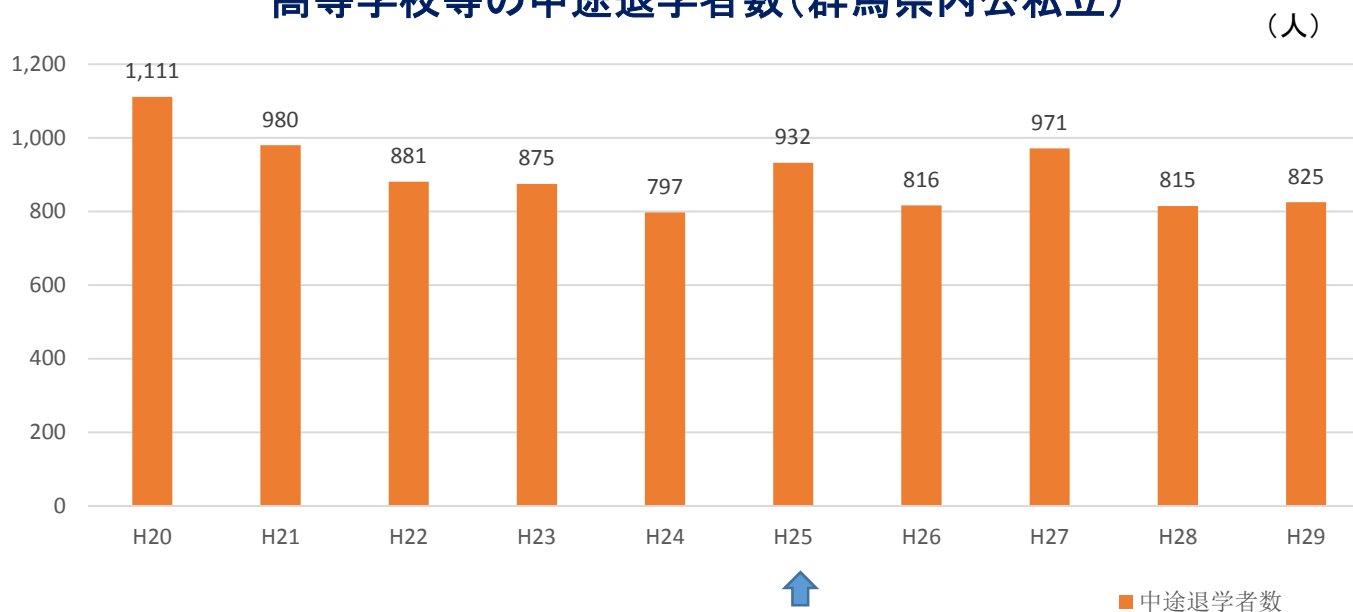
\* 講座は1回のみの内容です。



## 県内高校生(全・定・通)中退者数の動向

# 平均規模校(600人)を上回る800人超の中退者

### 高等学校等の中退学者数(群馬県内公私立)



平均規模校の  
生徒数より多い  
退学者

#### 参考データ

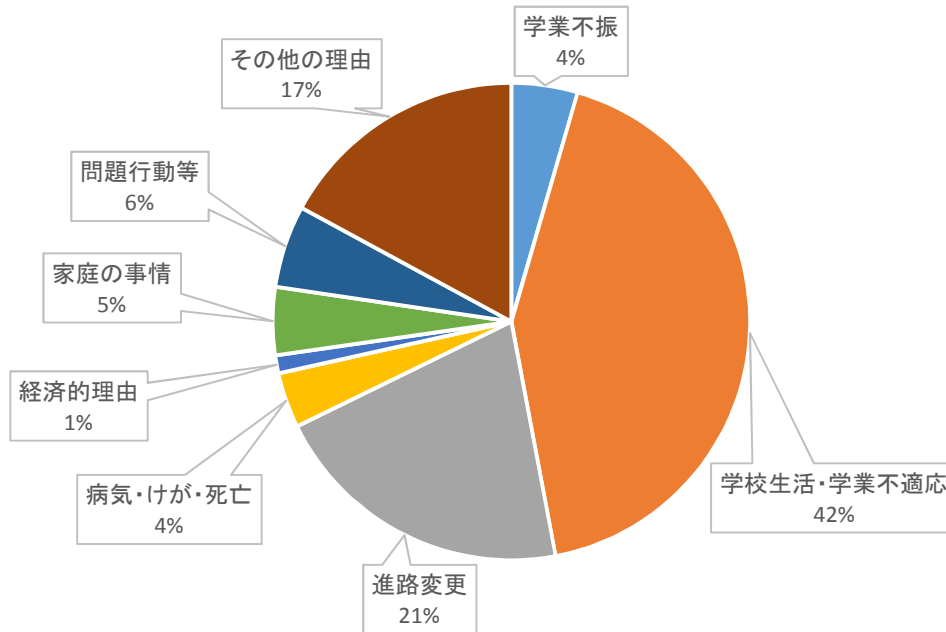
- 県内公立高校  
平均規模(5クラス)  
生徒数 600人
- 県内最大規模  
学年8クラス  
生徒数 960人

平成25年度から通信制も調査対象に加わりました

文部科学省 平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」から

# 「学校生活・学業不適應」と「進路変更」で6割超

29年度 総数(825人)



主な事由の内訳

## □ 学校生活・学業不適應(42%)

- ・もともと高校生活に熱意がない
- ・授業に興味がない
- ・人間関係がうまく保てない
- ・学校の雰囲気にあわない
- ・その他

## □ 進路変更(21%)

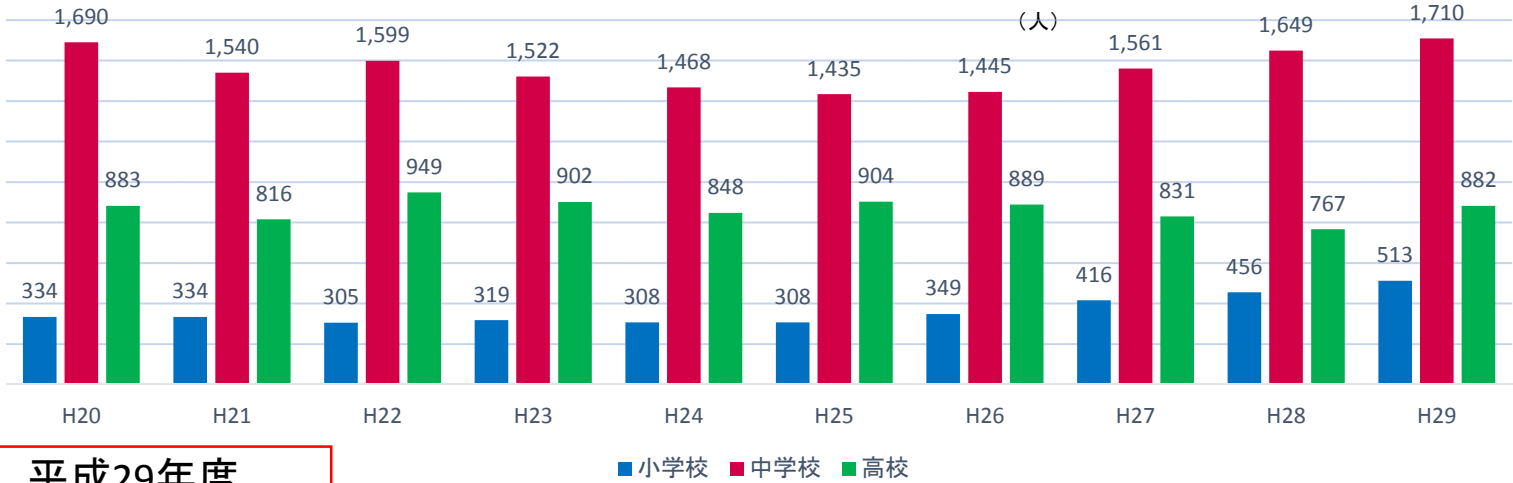
- ・別の高校への入学を希望
- ・専修・各種学校への入学を希望
- ・就職を希望
- ・高卒程度認定試験を受験希望
- ・その他

中学卒業後の見守りも必要

# 増加傾向が見られる中学校の不登校数

年間30日以上欠席者数

### 不登校児童生徒数(群馬県内国公立)



平成29年度

全国で中学3年の不登校は**41,500人**います  
 高校進学をきっかけに新たな一歩を踏み出す生徒がいます  
 なかには進路未決定のまま学校を離れるケースも  
 中学卒業後の支援が必要な若者がいます

長期化する中学生の不登校  
 前年度からの継続割合(全国)  
 中学1年生(34.8%)  
 中学2年生(59.4%)  
**中学3年生(73.3%)**

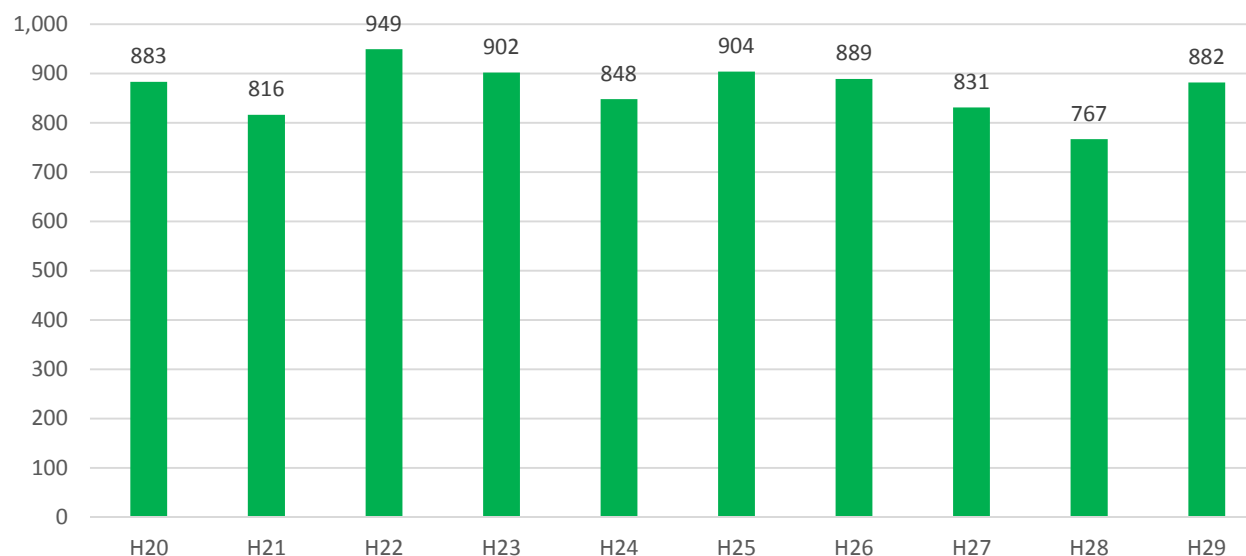
文部科学省 平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」から

## 見逃せない「不登校」との関連

# 不登校から「中途退学」(H29全国平均27.3%)

### 高等学校等の不登校者数(群馬県内公私立)

(人)



H29全国の不登校生徒数49,643人のうち  
中途退学者は**13,560人(27.3%)**、原級留置は**3,589人(7.2%)**  
高校1年生の不登校生徒数は12,967人  
うち前年度(中学校)からの継続は3,849人(29.7%)

文部科学省 平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」から